

表1-1 法令で定める水質検査項目の基準値と検査頻度（水質基準項目）

水質基準項目			基準値 (mg/L)	法令で定める 検査頻度
番号	項目	分類		
基01	一般細菌	病原 生物	100 集落以下/1mL	月1回以上
基02	大腸菌		検出せず	
基03	カドミウム及びその化合物	金属	0.003 以下	3ヶ月に1回以上
基04	水銀及びその化合物		0.0005 以下	
基05	セレン及びその化合物		0.01 以下	
基06	鉛及びその化合物		0.01 以下	
基07	ヒ素及びその化合物		0.01 以下	
基08	六価クロム化合物		0.02 以下	
基09	亜硝酸態窒素		無機 物質	
基10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01 以下		
基11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10 以下		
基12	フッ素及びその化合物	0.8 以下		
基13	ホウ素及びその化合物	金属	1.0 以下	
基14	四塩化炭素	一 般 有 機 化 合 物	0.002 以下	
基15	1,4-ジオキサン		0.05 以下	
基16	(シストラックス)-1,2-ジクロロエチレン		0.04 以下	
基17	ジクロロメタン		0.02 以下	
基18	テトラクロロエチレン		0.01 以下	
基19	トリクロロエチレン		0.01 以下	
基20	ベンゼン		0.01 以下	
基21	塩素酸		消 毒 副 生 成 物	
基22	クロロ酢酸	0.02 以下		
基23	クロロホルム	0.06 以下		
基24	ジクロロ酢酸	0.03 以下		
基25	ジブロモクロロメタン	0.1 以下		
基26	臭素酸	0.01 以下		
基27	総トリハロメタン	0.1 以下		
基28	トリクロロ酢酸	0.03 以下		
基29	ブロモジクロロメタン	0.03 以下		
基30	ブロモホルム	0.09 以下		
基31	ホルムアルデヒド	0.08 以下		
基32	亜鉛及びその化合物	金属	1.0 以下	
基33	アルミニウム及びその化合物		0.2 以下	

水質基準項目			基準値 (mg/L)	法令で定める 検査頻度
番号	項目	分類		
基 34	鉄及びその化合物	金属	0.3 以下	3 ヶ月に 1 回以上
基 35	銅及びその化合物		1.0 以下	
基 36	ナトリウム及びその化合物	味覚	200 以下	
基 37	マンガン及びその化合物	色	0.05 以下	
基 38	塩化物イオン	味覚	200 以下	月 1 回以上
基 39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)		300 以下	3 ヶ月に 1 回以上
基 40	蒸発残留物		500 以下	
基 41	陰イオン界面活性剤	発泡	0.2 以下	
基 42	ジェオスミン	かび臭	0.00001 以下	月 1 回以上
基 43	2-メチルイソボルネオール	物質	0.00001 以下	(産出する藻類が少ないときを除く)
基 44	非イオン界面活性剤	発泡	0.02 以下	3 ヶ月に 1 回以上
基 45	フェノール類	におい	0.005 以下	
基 46	有機物(全有機炭素[TOC]の量)	味覚	3 以下	月 1 回以上
基 47	pH値	基 礎 性 状	5.8~8.6	
基 48	味		異常でないこと	
基 49	臭気		異常でないこと	
基 50	色度		5 度以下	
基 51	濁度		2 度以下	

(注1) 色付き項目は委託検査、その他は自己検査。

表1-2 水質検査項目と検査頻度（水質基準項目）

水質基準項目			水源	原水	浄水池 出口	企業団水 受水池	市内末端 給水栓
番号	項目	分類					
基01	一般細菌	病原	年1	月1	月1	月1	月1
基02	大腸菌	生物	年1	月1	月1	月1	月1
基03	カドミウム及びその化合物	金属	年1	●月1	●月1	年4	年4
基04	水銀及びその化合物		年1		年4	年4	
基05	セレン及びその化合物		年1	●月1	●月1	年4	年4
基06	鉛及びその化合物		年1	●月1	●月1	年4	年4
基07	ヒ素及びその化合物		年1	●月1	●月1	年4	年4
基08	六価クロム化合物		年1	●月1	●月1	年4	年4
基09	亜硝酸態窒素		無機 物質	年1		年4	年4
基10	シアン化物イオン及び塩化シアン	年1					年4
基11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	年1			年4	年4	
基12	フッ素及びその化合物	年1			年4	年4	
基13	ホウ素及びその化合物	金属	年1		年4	年4	
基14	四塩化炭素	一 般 有 機 化 合 物	年1	年4	年4	年4	年4
基15	1,4-ジオキサン		年1		年4	年4	
基16	(s-トランス)-1,2-ジクロロエチレン		年1	年4	年4	年4	年4
基17	ジクロロメタン		年1	年4	年4	年4	年4
基18	テトラクロロエチレン		年1	年4	年4	年4	年4
基19	トリクロロエチレン		年1	年4	年4	年4	年4
基20	ベンゼン		年1	年4	年4	年4	年4
基21	塩素酸	消 毒 副 生 成 物	年1				年4
基22	クロロ酢酸						年4
基23	クロロホルム				年4	年4	年4
基24	ジクロロ酢酸						年4
基25	ジブロモクロロメタン				年4	年4	年4
基26	臭素酸						年4
基27	総トリハロメタン				年4	年4	年4
基28	トリクロロ酢酸						年4
基29	ブロモジクロロメタン				年4	年4	年4
基30	ブロモホルム				年4	年4	年4
基31	ホルムアルデヒド						年4
基32	亜鉛及びその化合物	金属	年1	●月1	●月1	年4	年4
基33	アルミニウム及びその化合物		年1	●月1	●月1	年4	年4

水質基準項目			水 源	原 水	浄水池 出 口	企業団水 受水池	市内末端 給水栓
番号	項目	分類					
基 34	鉄及びその化合物	金属	年1	●月1	●月1	年4	年4
基 35	銅及びその化合物		年1	●月1	●月1	年4	年4
基 36	ナトリウム及びその化合物	味覚	年1	●月1	●月1	年4	年4
基 37	マンガン及びその化合物	色	年1	●月1	●月1	年4	年4
基 38	塩化物イオン	味覚	年1	月1	月1	月1	月1
基 39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)		年1	●月1	●月1	年4	年4
基 40	蒸発残留物		年1	●月1	●月1	年4	年4
基 41	陰イオン界面活性剤	発泡	年1		年4	年4	
基 42	ジェオスミン	かび臭 物質	(月1)				(月1)
基 43	2-メチルイソボルネオール		(月1)				(月1)
基 44	非イオン界面活性剤	発泡	年1		年4	年4	
基 45	フェノール類	におい	年1		年4	年4	
基 46	有機物(全有機炭素[TOC]の量)	味覚	年1				月1
基 47	pH値	基 礎 性 状	年1	★平日1	★平日1	★平日1	月1
基 48	味				★平日1	★平日1	月1
基 49	臭気		年1	★平日1	★平日1	★平日1	月1
基 50	色度		年1	★平日1	★平日1	★平日1	月1
基 51	濁度		年1	★平日1	★平日1	★平日1	月1

(注1) ●印については、法令ではおおむね3ヶ月に1回以上ですが、検査頻度を月1回に強化しているもの。

(注2) ★印については、法令ではおおむね1ヶ月に1回以上ですが、検査頻度を平日1回に強化しているもの。

(注3) 色付き項目は委託検査、その他は自己検査。

(注4) 基 42、基 43 の検査は、かび臭発生時期のみ行うので ( ) 付きで表示しています。

表2-1 水質検査項目（水質管理目標設定項目）

水質管理目標設定項目		目標値 (mg/L)
目01	アンチモン及びその化合物	0.02 以下
目02	ウラン及びその化合物	0.002 以下(暫定)
目03	ニッケル及びその化合物	0.02 以下
目04	削除	削除
目05	1,2-ジクロロエタン	0.004 以下
目06	削除	削除
目07	削除	削除
目08	トルエン	0.4 以下
目09	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.08 以下
目10	亜塩素酸(注3)	0.6 以下
目11	削除	削除
目12	二酸化塩素(注3)	0.6 以下
目13	ジクロロアセトニトリル	0.01 以下(暫定)
目14	抱水クロラール	0.02 以下(暫定)
目15	農薬類	1 以下★(注2)
目16	残留塩素	1 以下
目17	カルシウム・マグネシウム等(硬度)	10~100
目18	マンガン及びその化合物	0.01 以下
目19	遊離炭酸	20 以下
目20	1,1,1-トリクロロエタン	0.3 以下
目21	メチル-t-ブチルエーテル(MTBE)	0.02 以下
目22	過マンガン酸カリウム消費量	3 以下
目23	臭気強度(TON)	3 以下
目24	蒸発残留物	30~200
目25	濁度	1 度以下
目26	pH値	7.5 程度
目27	腐食性(ランゲリア指数)	-1 程度以上とし、極力0に近づける
目28	従属栄養細菌	2000 集落数以下/1mL (暫定)
目29	1,1-ジクロロエチレン	0.1 以下
目30	アルミニウム及びその化合物	0.1 以下
目31	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及び ペルフルオロオクタン酸(PFOA)	0.00005 以下 (暫定)

(注1) 色付き項目は委託検査、その他は自己検査。(注2) ★印は、検出農薬の検出値と目標値の比を算出し、その総和が1以下。(注3) 目10 亜塩素酸・目12 二酸化塩素については、浄水処理において二酸化塩素を使用していないので検査は省略。

表2-2 水質検査項目と検査頻度（水質管理目標設定項目）

水質管理目標設定項目		水 源	原 水	浄水池出口	企業団水受水池	市内末端 給水栓
目01	アンチモン及びその化合物	年1		年1	年1	
目02	ウラン及びその化合物	年1		年1	年1	
目03	ニッケル及びその化合物	年1		年1	年1	
目04	削除					
目05	1,2-ジクロロエタン	年1	年4	年4	年4	年4
目06	削除					
目07	削除					
目08	トルエン	年1	年4	年4	年4	年4
目09	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	年1		年1	年1	
目10	亜塩素酸（注2）					
目11	削除					
目12	二酸化塩素（注2）					
目13	ジクロロアセトニトリル	年1		年1	年1	
目14	抱水クロラール	年1		年1	年1	
目15	農薬類	年1		年1		
目16	残留塩素			平日1	平日1	月1
目17	カルシウム・マグネシウム等(硬度)	年1	月1	月1	年4	年4
目18	マンガン及びその化合物	年1	月1	月1	年4	年4
目19	遊離炭酸	年1	年4	年4	年4	年4
目20	1,1,1-トリクロロエタン	年1	年4	年4	年4	年4
目21	メチルセブチルエーテル(MTBE)	年1		年1	年1	
目22	過マンガン酸カリウム消費量	年1	月1	月1	年4	年4
目23	臭気強度(TON)	年1	年4	年4	年4	年4
目24	蒸発残留物	年1	月1	月1	年4	年4
目25	濁度	年1	平日1	平日1	平日1	月1
目26	pH値	年1	平日1	平日1	平日1	月1
目27	腐食性(ランゲリア指数)	年1	年4	年4	年4	年4
目28	従属栄養細菌	年1	年4	年4	年4	年4
目29	1,1-ジクロロエチレン	年1	年4	年4	年4	年4
目30	アルミニウム及びその化合物	年1	月1	月1	年4	年4
目31	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及び ペルフルオロオクタン酸(PFOA)	年2		年2		

(注1) 色付き項目は委託検査、その他は自己検査。

(注2) 目10 亜塩素酸・目12 二酸化塩素については、浄水処理において二酸化塩素を使用していないので検査は省略。

表3-1 水質検査方法と自己検査・委託検査（水質基準項目）

水質基準項目			検査委託先	水質検査方法
番号	項目	分類		
基01	一般細菌	病原	自己検査	標準寒天培地法
基02	大腸菌	生物	自己検査	特定酵素基質培地
基03	カドミウム及びその化合物	金属	自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析装置による一斉分析
基04	水銀及びその化合物		共同検査	還元気化-原子吸光光度法
基05	セレン及びその化合物		自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析装置による一斉分析
基06	鉛及びその化合物		自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析装置による一斉分析
基07	ヒ素及びその化合物		自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析装置による一斉分析
基08	六価クロム化合物		自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析装置による一斉分析
基09	亜硝酸態窒素		無機物質	共同検査
基10	シアン化物イオン及び塩化シアン	共同検査		イオンクロマトグラフ-ポストアブソルブション吸光光度法
基11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	共同検査		イオンクロマトグラフによる一斉分析
基12	フッ素及びその化合物	共同検査		イオンクロマトグラフによる一斉分析
基13	ホウ素及びその化合物	金属	共同検査	誘導結合プラズマ-質量分析装置による一斉分析
基14	四塩化炭素	一般有機化合物	自己検査	HS-ガススクロマトグラフ-質量分析計による一斉分析
基15	1,4-ジオキサン		共同検査	パージトラップ-ガススクロマトグラフ-質量分析計による一斉分析
基16	( <i>cis</i> -1,2-ジクロロエチレン)		自己検査	HS-ガススクロマトグラフ-質量分析計による一斉分析
基17	ジクロロメタン		自己検査	HS-ガススクロマトグラフ-質量分析計による一斉分析
基18	テトラクロロエチレン		自己検査	HS-ガススクロマトグラフ-質量分析計による一斉分析
基19	トリクロロエチレン		自己検査	HS-ガススクロマトグラフ-質量分析計による一斉分析
基20	ベンゼン		自己検査	HS-ガススクロマトグラフ-質量分析計による一斉分析
基21	塩素酸		消毒副生成物	共同検査
基22	クロロ酢酸	共同検査		LC/MS/MS法
基23	クロロホルム	自己検査		HS-ガススクロマトグラフ-質量分析計による一斉分析
基24	ジクロロ酢酸	共同検査		LC/MS/MS法
基25	ジブロモクロロメタン	自己検査		HS-ガススクロマトグラフ-質量分析計による一斉分析
基26	臭素酸	共同検査		イオンクロマトグラフ-ポストアブソルブション吸光光度法
基27	総トリハロメタン	自己検査		HS-ガススクロマトグラフ-質量分析計による一斉分析
基28	トリクロロ酢酸	共同検査		LC/MS/MS法
基29	プロモジクロロメタン	自己検査		HS-ガススクロマトグラフ-質量分析計による一斉分析
基30	プロモホルム	自己検査		HS-ガススクロマトグラフ-質量分析計による一斉分析
基31	ホルムアルデヒド	共同検査		溶媒抽出-誘導体化-ガススクロマトグラフ-質量分析法
基32	亜鉛及びその化合物	金属	自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析装置による一斉分析
基33	アルミニウム及びその化合物		自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析装置による一斉分析

水質基準項目			検査委託先	水質検査方法
番号	項目	分類		
基 34	鉄及びその化合物	金属	自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析装置による一斉分析
基 35	銅及びその化合物		自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析装置による一斉分析
基 36	ナトリウム及びその化合物	味覚	自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析装置による一斉分析
基 37	マンガン及びその化合物	色	自己検査	誘導結合プラズマ-質量分析装置による一斉分析
基 38	塩化物イオン	味覚	自己検査	滴定法
基 39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)		自己検査	滴定法
基 40	蒸発残留物		自己検査	重量法
基 41	陰イオン界面活性剤	発泡	共同検査	固相抽出-高速液体クロマトグラフ法
基 42	ジェオスミン	かび臭物質	共同検査および 大阪府保健所	パーティック-ガス chromatography-質量分析法
基 43	2-メチルイソボルネオール		共同検査および 大阪府保健所	パーティック-ガス chromatography-質量分析法
基 44	非イオン界面活性剤	発泡	共同検査	固相抽出-高速液体クロマトグラフ法
基 45	フェノール類	におい	共同検査	固相抽出-誘導体化-ガス chromatography-質量分析法
基 46	有機物(全有機炭素[TOC]の量)	味覚	共同検査および 大阪府保健所	燃焼酸化法及び全有機炭素計測定法
基 47	pH値	基礎性状	自己検査	ガラス電極法
基 48	味		自己検査	官能法
基 49	臭気		自己検査	官能法
基 50	色度		自己検査	透過光測定法
基 51	濁度		自己検査	積分球式光電光度法

(注1) 色付き項目は委託検査、その他は自己検査。

(注2) HSはヘッドスペースの略



表3-2 水質検査方法と自己検査・委託検査（水質管理目標設定項目）

水質管理目標設定項目		検査委託先	水質検査方法
目01	アンチモン及びその化合物	共同検査	誘導結合プラズマ質量分析装置による一斉分析
目02	ウラン及びその化合物	共同検査	誘導結合プラズマ質量分析装置による一斉分析
目03	ニッケル及びその化合物	共同検査	誘導結合プラズマ質量分析装置による一斉分析
目04	削除		
目05	1,2-ジクロロエタン	自己検査	HS-ガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析
目06	削除		
目07	削除		
目08	トルエン	自己検査	HS-ガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析
目09	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	共同検査	溶媒抽出ガスクロマトグラフ質量分析法
目10	亜塩素酸	検査は省略	浄水処理において二酸化塩素を使用していないため。
目11	削除		
目12	二酸化塩素	検査は省略	浄水処理において二酸化塩素を使用していないため。
目13	ジクロロアセトニトリル	共同検査	溶媒抽出ガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析
目14	抱水クロラール	共同検査	溶媒抽出ガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析
目15	農薬類	大阪健康安全基盤研究所	液体クロマトグラフ質量分析計による一斉分析法ほか
目16	残留塩素	自己検査	ジエチルー-p-フェニレンジアミン法ほか
目17	カルシウム・マグネシウム等(硬度)	自己検査	滴定法
目18	マンガン及びその化合物	自己検査	誘導結合プラズマ質量分析装置による一斉分析
目19	遊離炭酸	自己検査	滴定法
目20	1,1,1-トリクロロエタン	自己検査	HS-ガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析
目21	メチルセブチルエーテル(MTBE)	共同検査	パーティックラップ-ガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析
目22	過マンガン酸カリウム消費量	自己検査	滴定法
目23	臭気強度(TON)	自己検査	官能法
目24	蒸発残留物	自己検査	重量法
目25	濁度	自己検査	積分球式光電光度法
目26	pH値	自己検査	ガラス電極法
目27	腐食性(ランゲリア指数)	自己検査	計算法
目28	従属栄養細菌	自己検査	R2A 寒天培地法
目29	1,1-ジクロロエチレン	自己検査	HS-ガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析
目30	アルミニウム及びその化合物	自己検査	誘導結合プラズマ質量分析装置による一斉分析
目31	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)	共同検査及び大阪健康安全基盤研究所	固相抽出-LC/MS/MS 法 直接注入-LC-MS/MS 法

(注1) 色付き項目は委託検査、その他は自己検査。

(注2) HSはヘッドスペースの略